

KPブロック(省力型間知 1個/m²)

大型間知ブロック



国道9号(山口市阿東町):山口河川国道事務所

特 長

- ① 1個が1㎡と大型なので、工期は大幅に短縮され、作業の省力化ができます。
- ② 基礎部をプレキャスト化する事により施工労力を軽減しました。
- ③ 自立式ブロックのため、施工作业が安全に行えます。
- ④ 裏壁があるため、裏型枠は必要ありません。
- ⑤ ブロック表面が擬石模様なので、自然との調和が図れます。
- ⑥ 胴込コンクリートが一体化するため、強固な練り積み擁壁を形成できます。

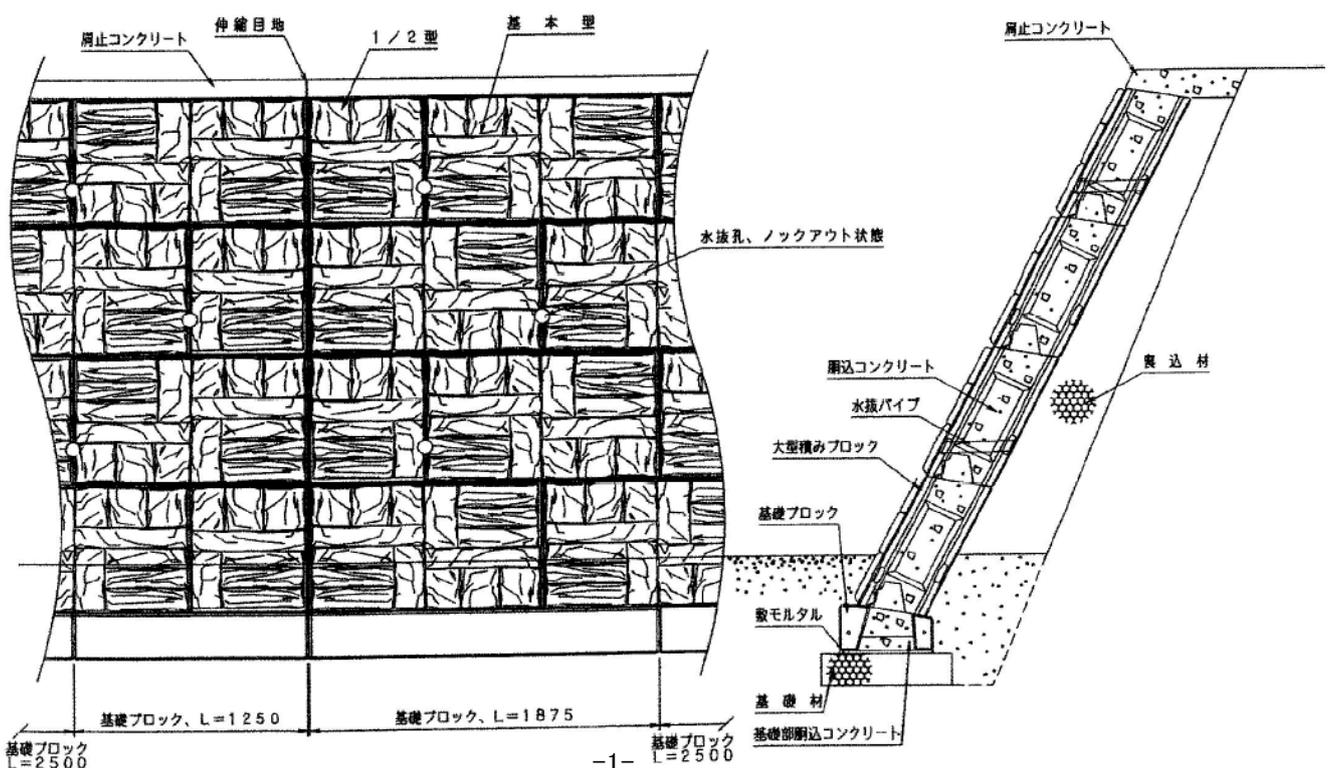
使用条件<<直高と<法勾配との関係>>

直高(m)	~3.0	3.0~5.0	5.0~7.0
盛土	1:0.4	1:0.5	—
切土	1:0.3	1:0.4	1:0.5
ブロック控長	45cm	50cm	55cm

(道路土工 擁壁工指針)

正面図

断面図

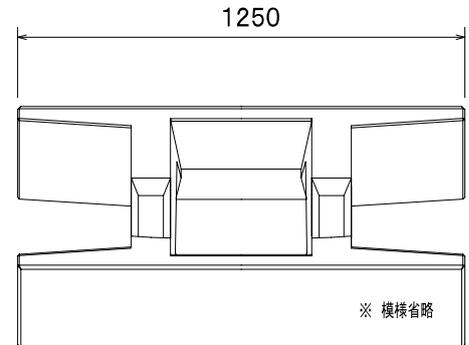


KPブロックA型(基本 SL=800,L=1250)

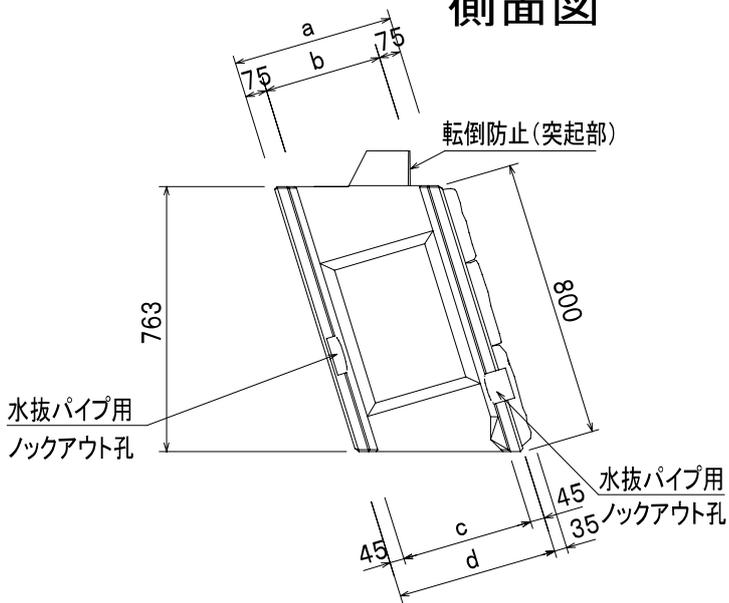
(寸法単位 mm)

呼び寸法	a	b	c	d	参考重量(kg)	胴込量(m ³)	備考
350A	350	200	260	350	404	0.178	—
450A	450	300	360	450	425	0.273	—
500A	500	350	410	500	433	0.320	—
550A	550	400	460	550	450	0.361	—

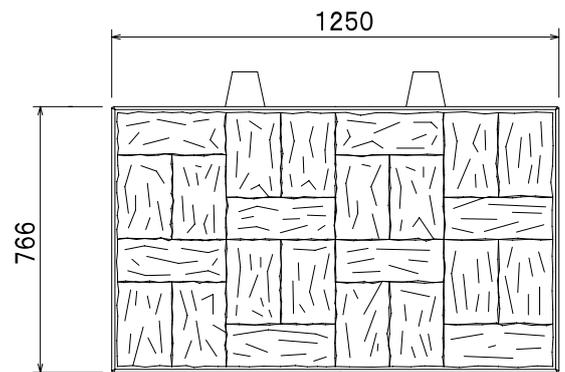
平面図



側面図



正面図



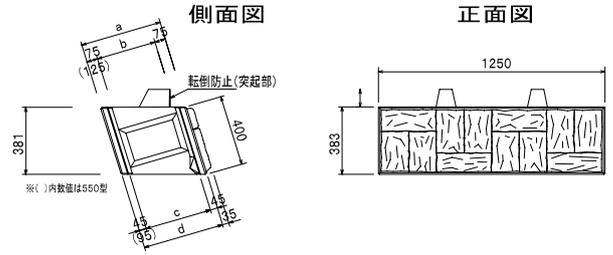
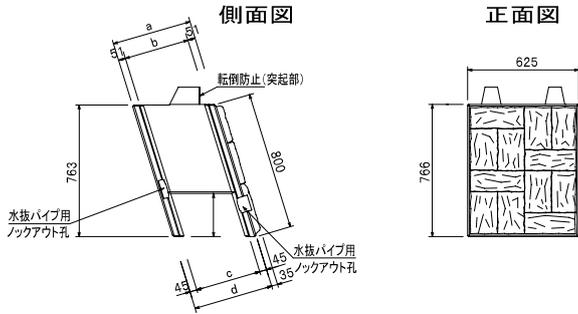
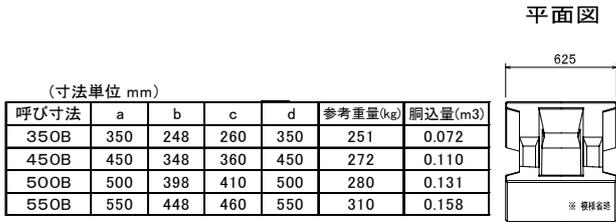
県道徳山光線・阿田川(周南市中須): 周南土木建築事務所



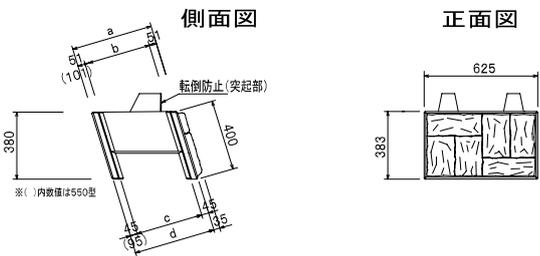
市道宇津平瀬線(岩国市錦町): 錦川総合開発事務所

KPブロックB型(1/2 SL=800,L=625)

KPブロックC型(1/2 SL=400,L=1250)



KPブロックD型(1/4 SL=400,L=625)

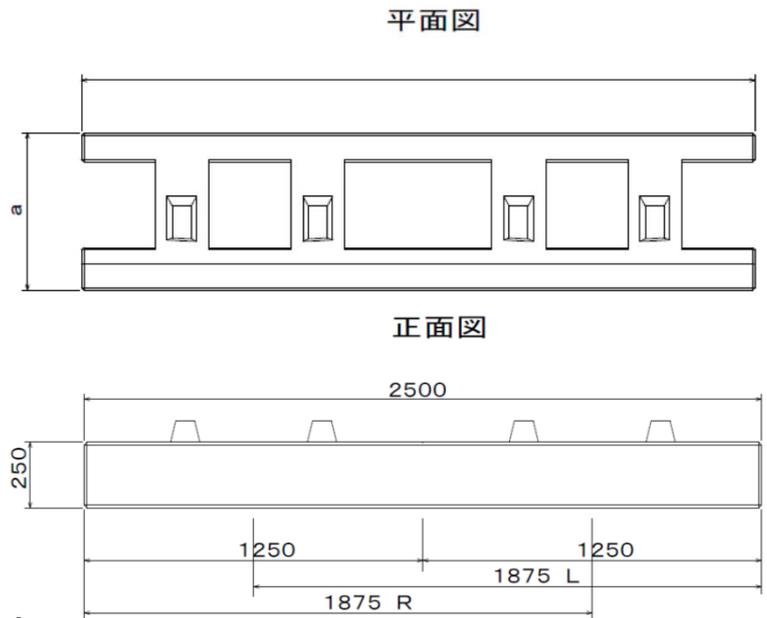
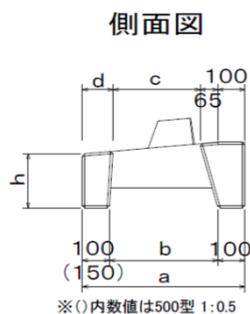


基礎ブロック

寸法表(単位:mm)

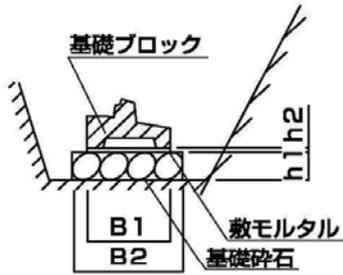
呼び寸法	勾配	a	b	c	d	h	参考重量(kg)	胴込量(m ³)
350	1:0.3	500	300	220	115	250	437	0.132
	1:0.4	500	300	221	114	214	411	0.125
	1:0.5	500	300	223	112	180	385	0.119
450	1:0.3	600	400	320	115	250	470	0.180
	1:0.4	600	400	321	114	205	430	0.169
	1:0.5	600	400	323	112	163	395	0.158
500	1:0.3	650	450	370	115	250	482	0.206
	1:0.4	650	450	371	114	201	439	0.191
	1:0.5	650	450	323	162	154	442	0.157

* 上記重量はL=2500の場合の参考重量です。



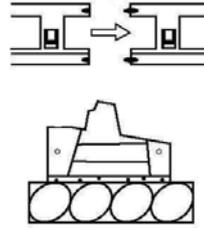
施工方法

1 堀削および基礎工



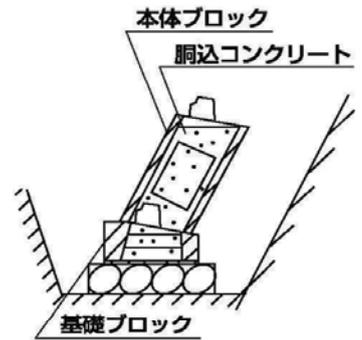
1. 堀削深さは根入れ深さ、基礎碎石、敷モルタル厚さを考慮し、堀削は基礎地盤を乱さないよう行う。

2 基礎ブロック据付工



1. 基礎ブロック据付精度の良否で工事仕上り（スピード、出来栄え）が決定するので、設計図書通り慎重、且つ確実にを行う。
2. カーブ施工は上部本体ブロックとの関連性を良く考え5を参考にを行う。
3. 敷設後は基礎ブロック開孔部にコンクリートを2/3程度充填し、一体化を計る。

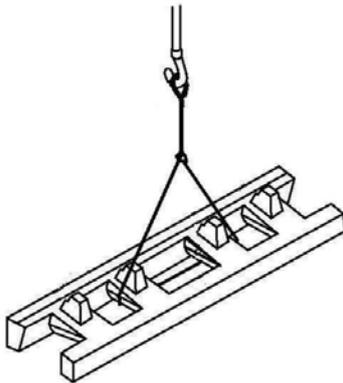
3 本体ブロック据付工



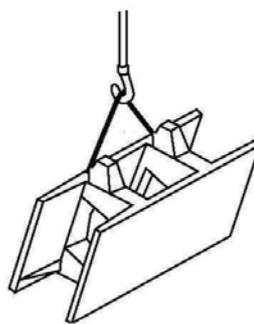
1. 基礎ブロック上に本体ブロックを設置する際の敷モルタルは不要。
2. 本体ブロックを所定の位置にセットすると、下段ブロック上部の突起が作用し、計画壁面勾配を維持し自立する。
3. ブロック上部の突起は、その上段のブロックと横方向に噛み合わせ構造となっているため、敷設の際、所定の位置に簡単にセット出来る。
4. 裏込め工および胴込めコンクリートは一段ごとに行い、ブロック高さの1/2～2/3程度とする。

4 ブロックの吊り上げ方法

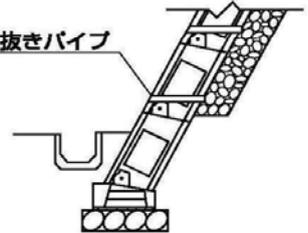
1. 基礎ブロック



2. 本体ブロック



水抜きパイプ



1. 排水工は水抜きパイプを2～3m²に一箇所設ける。ただし河川護岸または擁壁前面に水位がある場合は設けない。
2. 水ぬきパイプの取り付けは、本体ブロック前・後壁端部下方に一部厚みを切り欠いた残りの部分をハンマー等で打ち抜き、パイプをセットする。

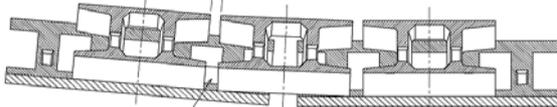
5 カーブ施工

1. 凸カーブ
2. 凹カーブ

基礎ブロックの目地開き量を最大とし、本体ブロック最上段において開きがなくなるよう調整する。
基礎ブロックを隙間なく敷設し、本体ブロック最上段において開きが最大となるよう調整する。

1段目

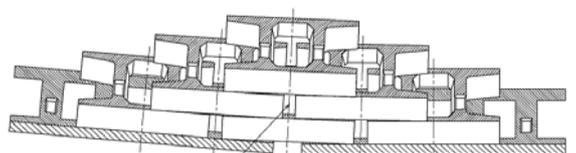
最上段の隙間を0として基礎の隙間を計算
凹曲りの場合は考慮しなくて良い



1段目の隙間は基礎隙間の約半分

計算で求めた基礎の隙間（凹曲りは0）

3段目



ブロック間の隙間は上段ほど少なくなる
凹曲りの場合は逆に大きくなる

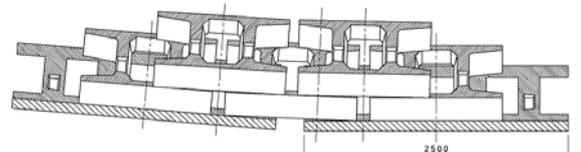
ブロックは隔段ごとに中心軸が同軸上にくる

基礎ブロック

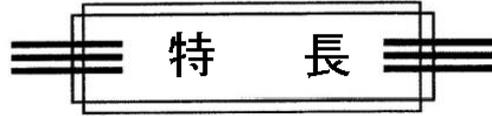


円弧基準線

2段目



KP大型ブロック(高擁壁用)



KP大型ブロック(高擁壁用)は、ブロック単体壁面の大型化を図ると共に多くの付加化価値(省力化、省人化、安全性等)を兼ね備えた、最も施工性に優れた大型練積擁壁です。

道路土工擁壁工指針(平成24年度版)の「通常ブロック積擁壁に準じた大型ブロック積擁壁」に対応しております。

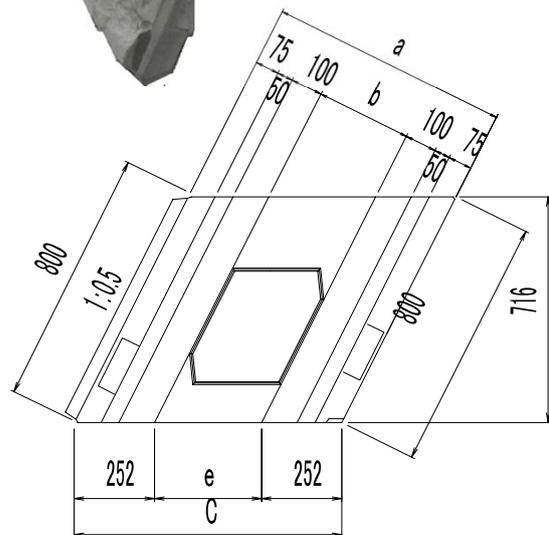
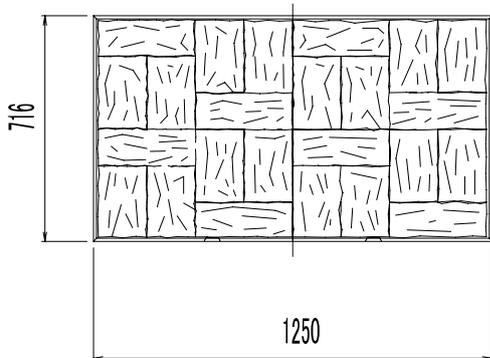
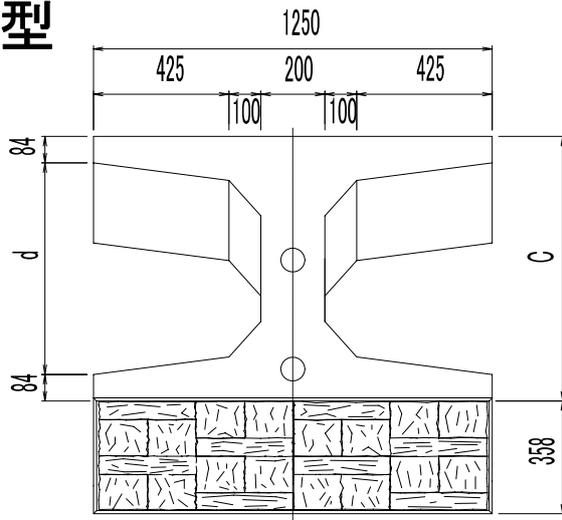
構造形式選定にあたっては、「国土交通省制定 土木構造標準設計」、「道路土工指針〈ブロック積(石積)擁壁〉を参考に行ってください。

控長に応じた勾配と直高の関係 (m)

背面勾配		1:0.3	1:0.4	1:0.5
控長	50cm以上	-	~3.0	~5.0
	75cm以上	~4.0	~5.0	~7.0
	100cm以上	~5.0	~7.0	~8.0

(道路土工 擁壁工指針)

A型



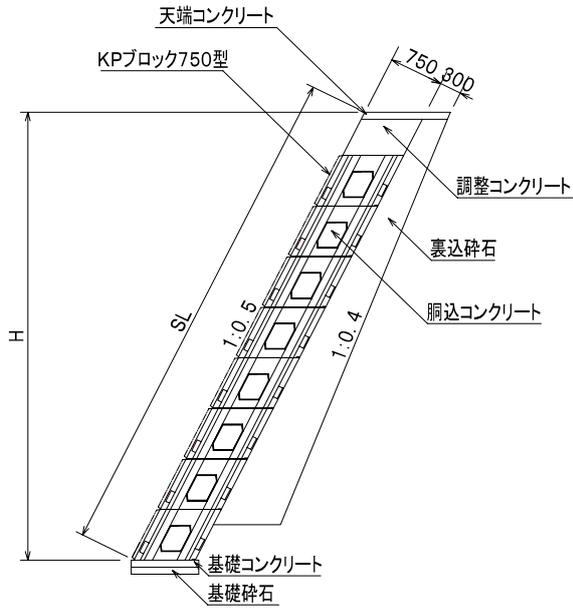
KP大型ブロック(A型) SL=800,L=1250

(寸法単位 mm)

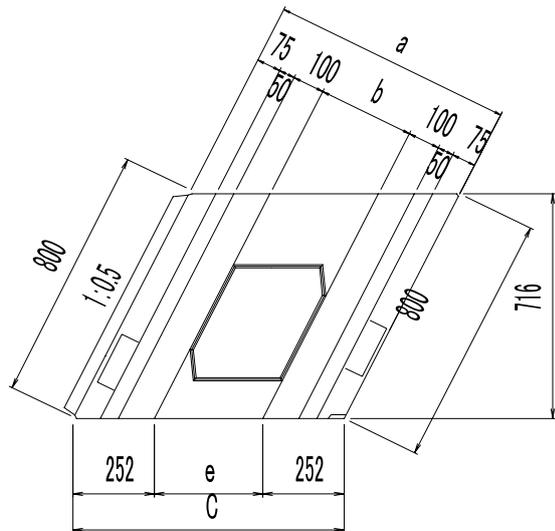
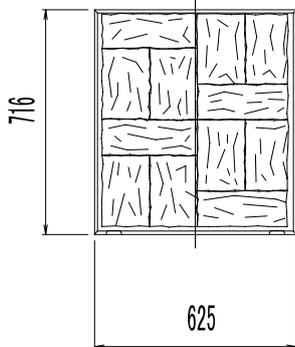
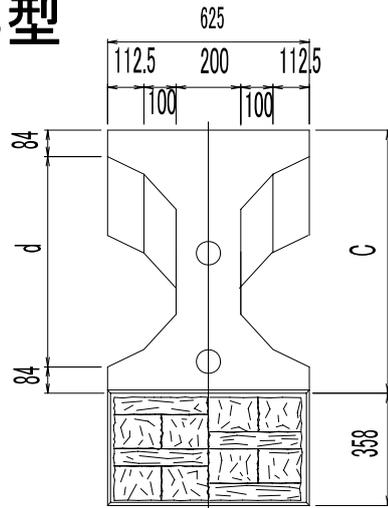
呼び寸法	a	b	c	d	e	参考重量(kg)	胴込量(m ²)
750A	750	300	839	671	335	666	0.466
1000A	1000	550	1118	950	615	703	0.701

使用個数 1個/m²

標準断面図



B型



KP大型ブロック(B型) SL=800,L=625

(寸法単位 mm)

呼び寸法	a	b	c	d	e	参考重量(kg)	胴込量(m2)
750B	750	300	839	671	335	396	0.206
1000B	1000	550	1118	950	615	434	0.315

使用個数 2個/m2

中国 K P 協会

会社名		住所	TEL	FAX
(株)九コン山口	〒747-0836	山口県防府市大字植松741	0835-29-0021	0835-29-2940
(株)和光産業	〒669-0102	島根県八束郡東出雲町大字下意東2384-2	0852-52-6112	0852-52-4349
八束コンクリート工業(株)	〒669-0406	島根県松江市宍道町佐々布1032	0852-66-0322	0852-66-1271
カワノ工業(株)	〒742-0021	山口県柳井市柳井1740-1	0820-22-1111	0820-22-5552
東洋ヒューム管(株)	〒754-1193	山口県山口市秋穂東3502	083-984-2021	083-984-2874
(株)ナガ・ツキ	〒730-0823	広島県中区吉島西1丁目21-1	082-247-0266	082-247-0241